

市長提案説明要旨

平成28年9月2日

本日ここに平成28年第3回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

初めに、先日の台風10号による豪雨災害に遭われた皆様へお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご遺族の皆様には、謹んで哀悼の意を表します。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

さて、8月には、スポーツの祭典、平和の祭典と称される「第31回オリンピック競技大会」が南米大陸で初めて、ブラジル・リオデジャネイロで開催されました。

今大会は、難民五輪選手団の10選手を含めて、205の国と地域から1万1千人を超える選手が参加し、17日間にわたり、28競技306種目で熱い戦いが繰り広げられました。

日本人選手では、レスリングの伊調馨選手が女子の個人種目では史上初となる4連覇を達成し、体操では内村航平選手が個人総合で2連覇を果たすなど、レスリング、体操、柔道、競泳などでメダルラッシュが続き、日本が獲得したメダル数は、金12個、銀8個、銅21個の合計41個となり、前回のロンドン大会の38個を上回る過去最高となりました。

日本人選手をはじめ、世界のトップアスリートが全力で戦い、自己の限界へ挑戦する姿に、感動と元気をもらい、改めてスポーツの素晴らしさを感じさせられました。政治や宗教、民族などを超え、世界共通の文化の一つであるスポーツを通じて、世界の人々が交流する姿に、平和のありがたさを実感したところであります。

今月7日からは、パラリンピックが開催されますが、選手の皆様には、障がい乗り越え、夢舞台で、日頃積み重ねられた鍛錬の成果を遺憾なく発揮され、世界中から集まる人々との交流を深められますことを期待しています。

一方、オリンピックの開催には、戦争が原因で、1940年の第12回東京大会など3大会が中止となった悲しい歴史もあります。

戦後71年を迎えた我が国において、私たちは、今日の平和と繁栄を当然のように享受しておりますが、この平和と繁栄に至るまでには、先人たちの多くの尊い犠牲とたゆまぬ努力があったことを忘れてはなりません。未来の子どもたちのためにも、命の尊さ、平和の大切さを語り継ぎ、この豊かな自然と歴史文化を後世に引き継いでいくことが、私たちに課せられた責務であると思っております。

そして、2020年東京オリンピックにおけるサッカー会場にカシマサッカースタジアムが追加決定され、鹿嶋から全世界へ、平和の尊さやスポーツの素晴らしさ、鹿嶋の魅力を発信できることを、心待ちにしております。

(国内情勢)

次に、国内の社会経済情勢であります。

内閣府の8月の月例経済報告によりますと、景気の基調判断を、「弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と、5カ月連続で据え置きました。

雇用・所得環境は改善する一方で、個人消費や民間投資は力強さを欠き、英国のEU離脱問題や世界経済の低迷などによる影響が懸念されています。

政府においては、6月2日に、名目GDP（国内総生産）600兆円の実現を目指し、新たな成長戦略の具体的な骨子をまとめた「日本再興戦略2016」を閣議決定しました。

さらに、8月2日には、事業規模28兆1千億円の「未来への投資を実現する経済対策」を閣議決定し、実質GDPを1.3%程度押し上げる効果が見込まれています。一億総活躍社会の実現の加速や21世紀型のインフラ整備、中小企業及び地方の支援、熊本地震及び東日本大震災からの復興などを柱に、子育て・介護の環境整備や若者への支援拡充、女性活躍の推進、農林水産業の競争力強化、地方創生の推進、災害対応の強化・インフラ老朽化対策などを進め、内需を下支えするとしています。

こうした中、本市の財政状況については、今後も厳しい状況が続くものと認識しておりますが、国の経済対策などの動向を注視するとともに、限られた財源や人材などの資源を効果的、効率的に活用し、輝く鹿嶋の未来への投資を的確に行ってまいりたいと考えております。

(スポーツ先進のかしま)

去る7月20日、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の開催が正式決定しました。大会は、3年後の平成31年9月28日から10月8日まで、県内各地で、天皇杯と皇后杯の獲得を目指し、都道府県代表の選手達が熱戦を繰り広げます。

本市においては、9月29日から10月3日までの5日間、カシマサッカースタジアムやト伝の郷運動公園多目的球技場など5会場で、成年男子と少年男子のサッカー競技が行われます。

市では、先月23日に、施設の整備や競技会運営はもとより、全国から参加する選手や関係者、多くの応援者の方のおもてなしをするため、議員各位をはじめ、各界各層の皆様のご協力をいただき、鹿嶋市実行委員会を設立しました。

本市での国体開催は、全国トップレベルの競技を身近に観戦できる絶好の機会であり、幅広い年齢層のスポーツ及び健康づくりへの関心の高まりや施設の充実、

大会運営のノウハウの蓄積などにより、スポーツコンベンション誘致などに向けての環境整備、経済効果などが見込まれるなど、スポーツによる地域活性化を促進されるものと大いに期待しております。

今年も、市内のスポーツ界は躍動し、全国レベルでの目覚ましい活躍や各種大会が開催されています。

8月4日から6日まで、鳥取県で開催された平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）弓道競技の男子団体において、清真学園高等学校弓道部が、日頃の練習の成果と高い集中力を発揮し、見事に優勝を果たしました。

また、鹿島中学校サッカー部が3年連続で全国大会に出場するなど、全国に「スポーツ先進のまち鹿嶋」を発信する大きな力となっていていただいております。

我らが鹿島アントラーズは、6月25日、カシマサッカースタジアムでアビスパ福岡に2対0と快勝し、深紅に染まる3万1千人を超えるサポーターの前で、第1ステージ優勝を果たしました。12勝3分け2敗、勝ち点39という常勝軍団の復活を印象づける見事な成績を収め、11月から開催されるチャンピオンシップの出場権を獲得しました。

これからの一戦一戦を大事にしながら、年間優勝という栄冠を獲得し、地域全体に感動と元気をもたらされることを願っております。市民の皆様にはスタジアムに足を運んでいただき、熱い声援をお願いいたします。

先月21日には、カシマスポーツセンターにおいて、三笠宮家瑤子女王殿下のご臨席のもと、第26回塚原ト伝杯武道大会（剣道の部）が盛大に開催されました。県内外から参加した90チームの小中学生の剣士たちは、正々堂々と活気あふれた試合を繰り広げていました。

（住みよいかしま）

地域医療対策については、茨城県及び鹿行南部地域の各市と連携し、地域全体の医療体制の充実に向けて継続的に取り組みを行っております。

なめがた地域医療センターでは、土浦協同病院との連携により、8月1日から、平日の17時以降の夜間診療、及び土曜日・日曜日の休日診療について、医師1名から内科系・外科系の医師2名体制に増員し、幅広い病気や怪我などに対応できるようになりました。

さらに、三次救急患者の受け入れについては、隣接する千葉県側の三次救急医療機関である「成田赤十字病院」、「旭中央病院」、「千葉北総病院」に対しまして、毎年、私が直接足を運び、市民の受け入れについての要望を行っております。

今後も市民の皆様がいつでも安心して適切な医療を受けられるよう、関係機関と連携を図りながら、医療体制の強化と積極的な情報提供を行ってまいります。

少子化対策の一環として取り組んでいる結婚活動支援事業については、結婚を希望する独身男女の出会いの場の提供や結婚に対する意識の醸成などの取組みを進めております。

7月2日と8月6日に開催した「婚活イベント」では、13組のカップルが誕生し、先月27日には婚活サポーター養成講座として、婚活を支援する立場の方や独身のお子さまを持つ親御さんを対象としたセミナーを開催しました。

さらに、今年度は、石岡市、小美玉市、坂東市と連携した婚活イベントを3回予定しており、第1弾として、今月18日に、石岡市で婚活バスツアーを実施します。その他、婚活を支援する様々な企画を予定しており、積極的な情報の提供と参加を働きかけてまいります。

今後も、創意工夫のある出会いの場の提供や結婚に対する意識の醸成を図るとともに、地域の婚活サポーターの皆様にもご協力をいただきながら、結婚活動支援の幅を広げる取組みを進めてまいります。

今月、多年にわたり鹿嶋市の発展や社会に尽くされてきた高齢者の皆様に、敬意と感謝を表するとともに、長寿と健康をお祝いする「敬老会」を開催します。

今年も12の小学校区と6つの特別養護老人ホームなどの施設での開催となりますが、高齢者人口の増加や会場の収容能力などを総合的に判断し、対象年齢を2歳引き上げ、75歳以上の方を対象に実施することとしましたので、ご理解をお願いいたします。

対象者は8,572人で、100歳を超える方は28人と、年々ご長寿の方が増えており、参加する皆様の元気なお姿を拝見させていただくことをとても楽しみにしております。

地域の皆様方には、毎年、ご尽力をいただいているところでありますが、敬老会が地域と高齢者の皆様の結びつきを深めるきっかけとなるなど、地域福祉の向上にもつながるものとして、ご協力をいただきますようお願いいたします。

高齢社会においては、身近な地域で様々な人や団体などが垣根を越えて協力し合い、総合的な支援の仕組みづくりが重要であります。また、様々な人や団体が協力し合うことで、新たなコミュニケーションが生まれ、地域に元気をもたらし、すべての地域住民にも住み良いまちづくりにつながるものと考えております。

平成26年8月からスタートした車座懇談会については、現在、101地区中80地区での懇談を終え、今年度中に全地区を終了する予定で進めております。

これまで、延べ1,386人の市民の皆様のご参加をいただき、未来の鹿嶋づくりや地域の諸課題などについて、市民の皆様から生の声をお伺いし、本音で話し合いをさせていただいております。

懇談の場でも出されたご意見などについては、地域の課題として、行政と地域で共有し、担当課で精査し対応しております。

また、市では、第三次鹿嶋市総合計画・後期基本計画の策定を進めており、今月14日から、各地区公民館において住民懇談会を開催します。

市民の皆様には、是非ご参加いただき、これからの鹿嶋づくりについて、幅広いご意見をお伺いしたいと思います。

こうした市民の皆様との対話を大事にしながら、市民の皆様と共に考え、共に未来の鹿嶋を創ってまいりたいと考えております。

(活力あるかしま)

鹿嶋港の整備及び利用の促進については、鹿嶋臨海工業地帯の競争力強化や地域経済の発展に大きく寄与するものであり、国・県への要望やポートセールスなどを進めております。

去る7月6日の北公共埠頭を利用した韓国定期コンテナ船の就航に続いて、今月17日に、鹿嶋港と仙台港、東京港を結ぶ定期コンテナ航路が開設されます。

また、鹿嶋バルクターミナル株式会社が外港公共埠頭内にコールセンター（石炭貯蔵施設）の建設・運営を予定しております。

市としましては、外港公共埠頭の安定的な利活用の推進と外貿貨物の増加を図り、地域経済の発展への寄与といった観点から、出資計画を進めており、今回の補正予算に計上させていただいておりますので、ご理解をお願いいたします。

先月6日、7日の両日には、平井海水浴場を会場に、5月に続く第2弾となる「かしまビーチフェスタ2016」が開催されました。「アントラズカップ2016かしまビーチサッカー大会」のほか、7日には、砂の造形体験や大宝さがしなど魅力満載のイベントが行われ、約4,500人の海水浴客で賑わい、鹿嶋の美しい海の魅力と楽しさを発信できたものと考えております。

今年で38回を迎え、夏の終わりの風物詩となっている鹿嶋市花火大会が、先月27日、観光協会をはじめ関係者の皆様のご尽力により、大船津の北浦湖畔で盛大に開催されました。

夏の夜空と湖畔を彩った水中スターメインや関東一の尺玉108連発など約12,000発の花火に、観客からは大きな歓声が沸き上がり、多くの皆様楽しんでいただけたものと思っております。

なお、ふるさと納税の返礼品として、「市内施設でのペア宿泊付き・花火大会特別観覧席」を用意しましたが、瞬く間に予定数に達する人気でありました。

今後も、返礼品の充実を図り、市の特産品や魅力のPRなど、ふるさと納税制度の活用を推進してまいります。

(人が輝くかしま)

去る7月23日に、FMかしまとの共催により、「鹿嶋っ子夏フェス」を開催

しました。当日は、約100人の市内の小学生がまちづくり市民センターに集まり、FMの実況のほか、新日鐵住金や鹿島宇宙技術センターなどのご協力のもと、鉄や宇宙などについて学習し、勾玉（まがたま）づくりを体験しました。こうした課外授業を通じ、多様な分野への興味の動機づけや郷土への誇り、愛情の醸成など、未来を担う、健全な鹿嶋っ子の育成を期待するものであります。

鹿島小学校の大規模改造事業については、順調に工事が進み、きれいになった教室で新学期をスタートさせています。先月28日に、保護者の皆様のご協力により、机や椅子などを教室に戻す作業が行われ、「大変明るくなった」、「新しく気持ちが良い」との感想を多くいただきました。

引き続き、国庫補助金などを活用し、教育施設の計画的な施設改修を進め、子どもたちが安心して学べる環境の確保に努めてまいります。

市では、男女共同参画社会の実現に向けて、これまでの取組みに加えて、女性の更なる活躍の推進を図るため、昨年度、「女性支援室」を設置し、第2次鹿嶋市男女共同参画計画の推進に取り組んでおります。

10月15日には、市保健センターを会場に、女性が自分らしい生き方を考え、人生設計できる力を身につける女性支援の機会として、「鹿嶋市女子フェスタ」を開催します。各種セミナーの開催のほか、市内の女性起業家による出店やワークショップ（ものづくり体験）など、家族やパートナーとともに楽しめるイベントを企画しています。

また、10月下旬からは、ハローワーク常陸鹿嶋との共催で、仕事と家庭との両立などの悩みを抱えている方のために、「子育てママの再就職ウォーミングアップ講座（5回連続講座）」を実施します。多くの皆様にご参加いただき、自分らしく輝くヒントを見つけていただきたいと考えております。

（頼もしいかしま）

我が国は、災害列島と言われるほど、各地で地震や台風などによる災害が発生しており、こうした災害への認識を深め、日頃からの備えと防災体制の整備が重要であります。

去る7月3日に、津波被害の想定される高松地区において、総勢505人の参加のもと、地区防災訓練を実施しました。高松地区防災公園に備え付けられている防災トイレの組み立て方などを含め、防災公園の機能などについて理解を深めていただきました。

また、今月25日には、消防団が、火災現場などで迅速な対応ができるよう、資器材の操作など消防団員の技術向上を図るため、鹿嶋市消防ポンプ操法大会を開催します。

消防団は、地域に密着した欠かせない存在であり、団員の機動力や現場対応力

を有しています。いざという時に、これら消防団の特性を最大限に発揮できるよう、団員の確保や訓練の実施などへの積極的な支援を継続的に取り組むとともに、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

（自立したかしま）

市では、住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書が全国のコンビニエンスストアで取得することができる「コンビニ交付サービス」の12月1日からの開始に向けて、準備を進めております。

コンビニ交付サービスは、申請書を記入することなく、コンビニエンスストアにある簡単な端末操作で各種証明書を取得でき、市民の皆様の利便性の向上につながるものです。

このサービスを利用するためには、マイナンバーカードが必要となりますので、早めの交付申請をお願いいたします。このほか、マイナンバーカードは、身分証明書として、また、確定申告などの電子申請にも利用できるほか、各種行政手続のオンライン申請などへの活用の拡大が図られる予定であります。

引き続き、市の広報やホームページ、FMかしまなどを通じて、マイナンバーカードの普及・啓発に努めてまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《決算認定》

次に、平成27年度決算についてであります。

一般会計において、歳入総額は、前年度と比べ22.5%増の324億2,636万2千円、また、歳出総額は、前年度と比べ17.5%増の292億7,322万2千円となっております。この大幅な増の要因は、歳入においては、復興交付金事業である市街地液状化対策事業の実施に伴う地方交付税と国庫支出金、繰入金などの増、歳出においては、東日本大震災復興基金積立金の増などによるものです。

差引額は、31億5,314万円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、10億3,184万4千円と、前年度と比べ3.8%の減となり、財政調整基金へ6億円を積み立てし、翌年度への繰越金が4億3,184万4千円となりました。

また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度と比べ1.4ポイント上昇し91.1%、公債費負担比率は9.7%で、前年度と比べ0.8ポイント下回りました。経常収支比率の上昇の要因は、市税などの一般財源が減少する中、扶助費などが増加したことによるものです。行財政改革の推進などを通じて、比率の抑制に努めてまいります。

特別会計は、総計としまして、歳入が13億6,133万1千円増の168億4,417万7千円、歳出が13億570万1千円増の161億9,493万7千円となりました。

なお、特別会計は、歳入歳出の差引額が6億4,924万円となり、一般会計と併せて、健全な財政運営をすることができました。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解のもと、引き続き、効率的な予算執行を心掛けるとともに、将来を見据えた、計画的な財政運営を推進してまいります。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が6件、条例関係議案が4件、その他の議案が5件、人事関係議案が2件、契約関係議案が4件、報告案件が2件、諮問案件が1件、認定議案が3件、合わせて27件であります。

まず、予算関係議案は、平成28年度一般会計と特別会計の補正予算に関するものであります。

一般会計補正予算については、財政事務経費、港湾振興事業、全国住民基本台帳ネットワークシステム事業、特別保育・保育サービス支援事業、道路維持補修費、その他市道整備事業、公共下水道雨水管理費、小学校大規模改造事業などを計上しております。

国民健康保険特別会計補正予算については、平成27年度事業費確定に伴う国庫支出金等返還金を計上しております。

介護保険特別会計補正予算については、平成27年度事業費確定に伴う国庫支出金等返還金と一般会計への繰出金などを計上しております。

公共下水道特別会計補正予算については、公共下水道事業などの増減額を計上しております。

墓地特別会計補正予算については、墓地管理費を計上しております。

水道事業会計補正予算については、職員給与費の増減額を計上しております。

次に、条例関係議案は、「鹿嶋市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例」などであります。

その他議案は、「新たに生じた土地の確認について」などであります。

人事関係議案は、教育委員会委員の任命に当たり、議会の同意を求めるものであります。

契約関係議案は、液状化対策工事に係る工事請負契約及び変更請負契約について、議会の議決を求めるものです。

報告案件は、平成28年度鹿嶋市一般会計補正予算にかかる専決処分などであり、ります。

諮問案件は、人権擁護委員候補者の推薦について議会の意見を求めるものであります。

認定議案は、「平成27年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」などであります。

私の説明は以上で終わりますが、予算、決算以外の議案については、担当から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。